

運営推進会議等開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議等を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	看護小規模多機能えんじゅ		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	加西市三口町1257-2		
担当者	小西 和弘	連絡先	0790-48-8885
運営法人	ナイトウメディックス株式会社		

2. 開催日時・場所

日時	令和5年11月15日(水)14時～15時	場所	ナイトウメディックス株式会社 2階会議室
----	----------------------	----	----------------------

3. 出席者(敬称略)

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
	利用者又は利用者の家族	ご家族
	地域住民の代表者	三口町・区長
	地域住民の代表者	三口町・老人クラブ会長
	地域住民の代表者	三口町・民生委員
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	加西市長寿介護課
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	加西市地域包括支援センター
	当該サービスに知見を有する者	市立加西病院 地域医療室
	当該サービスに知見を有する者	加西市社会福祉協議会
	事業所職員	ナイトウメディックス株式会社 福祉事業部
	事業所職員	看護小規模多機能えんじゅ 所長・管理者

4. 活動状況報告

<p>・登録者の状況は、別紙のとおり。登録定員29名に対して、利用者数15名。 要介護5の利用者が6名と最も多く、要次いで介護2の利用者が3名となっている。 特別養護老人ホームヘロングショート→入所により、前回より1名減少。</p> <p>・利用回数の少ない方は、月途中からの新規と短期利用の方になる。 ・今回、短期利用の方が1名あった。認知症の進行により、ショートステイを利用したが馴染めなかった。 ・利用者全体では、平均介護度は3.46と前回より0.28(前回3.18回)から上がっている。 ・利用者一人当たりの利用回数が27.06回/30日(前回29.75回/31日)と週にすると6.7回(前回週6.7回)と変わりなし。 ・週4回の目安に対して、一人当たり週2.7回多く利用となっており、人件費率が高く採算的に厳しい。 ・今回の期間中は、利用者・家族・職員等の新型コロナウイルスおよびインフルエンザの感染者はなかった。 ・職員へのインフルエンザ予防を10/17(火)に実施。</p>

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

・消防訓練について、夜間等に9名の利用者が泊まられている場合、外へ利用者を順に避難させる事を考えると、避難した利用者の見守り等も認知症の方だと必要になるので、職員の呼び出しや応援だけでなく、近隣住民等の協力も得られると良い。

・播磨看護専門学校からの看護学生の実習・見学について、加西市内の様々な関係機関を見学していただき、できれば加西市内の病院等で働いてもらえるようにしていきたい。

・地域との関わりについて、コロナ前までは認知症キャラバンメイトだけでなく、薬剤師や看護師等の専門職も地域からの依頼に応じて派遣をしていたが、今は中止している。地域の活動も再開してきているため、地域の皆さんと専門職が顔の見える関係作りが進んでいくと良い。

・介護等の人材不足等に対応していくため、介護分野でも施設のICT化が進んでいて、様々なセンサーやカメラ等が導入され、効率化や負担軽減が図られている。今後、在宅においても、施設と同様の見守りシステム等を活用したICTを進めて行かないと、住み慣れた自宅で暮らし続けることが難しくなるのではないかと。→アマゾンのアレクサ等で見守り等のできる事も増えて便利になってきている。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組み

・引き続き、事業所に対して、お気づきの点やご質問等があれば、後日にでもご連絡いただければありがたいです。

7. 地域からの情報提供

・火事等の場合は、近隣で協力が得られる方もいる場合があるので、区長や隣保の方へ相談をしてはどうか。

8. その他特記事項

・別紙、参考資料等の説明

1. 定期巡回事業所のある本社建物の周りのブロック塀の取り壊し工事が12付きより実施。そのため、来客用駐車場と横の空き地に工事関係者が出入りする。大型車両が出入りする事もあるため、近隣の方には工事業者より説明済み。→通学路にもなるため、下里小学校にも一報入れておく方が良い。
2. 消防署の介護施設等への帯入り検査の内容についての説明
3. 兵庫県看護小規模多機能型居宅介護事業者連絡協議会のパンフレットの紹介